



シルバー ふじえだ

令和元年9月5日

第61号

発行

公益社団法人

藤枝市シルバー人材センター

藤枝市藤枝五丁目3番20号

☎054-641-5565

会員数 男567名・女317名

計 884名(8月15日現在)

ハーブ石鹸手作り講座 シルバー女性部



女性部活躍の

基礎を築く技能習得

女性部は3年前の8月に誕生しました。

目的は、

- ① 女性会員同士の交流
- ② 女性向けの仕事の創出
- ③ 女性会員の増強

女性部はヨガ講座を手始めに数々の講座を実施して会員の知識・技能・技術を広げ、地域社会からの要請に応えていきたいと考えています。

ハーブ石鹸の手作り講座にあたり、女性部役員が、今後の女性部の方向性について熱く意気込みを語っていました。

この度の講座も更に深め発展させ、事業化を目指していきたいと思っていますので、女性部の活動へより多くの女性会員のご協力・ご参加をお願い致します。

藤枝市シルバー人材センター定時総会の開催 平成30年度収支決算、新役員の選任などを承認

6月22日(土)、藤枝市生涯学習センターにおいて、定時総会を開催し、北村市長をはじめご来賓のご臨席をいただいて、平成30年度の事業報告と収支決算の承認、新役員(理事・監事)を選任する議事が提案され、全会一致で承認されました。

総会挨拶



理事長
大井市郎

会員の皆様には、本総会にご出席いただきありがとうございます。ご来賓の皆様には、ご多忙のところをご臨席いただき、心より感謝申し上げます。

平成30年度は、①就業率のアップ、②会員の事故撲滅、③会員の増強の3つを重点目標に取り組んでまいりました。総会資料にありますように、就業率は残念ながら若干昨年を下回りましたが、大きく落ち込むことはありませんでした。事故の撲滅は、重篤事故もなく、皆様が注意されて仕事に励んでくれた賜物と嬉しく思います。

また、会員の増強ですが、少子高齢化の人手不足の波がシルバーにもひしひしと押し寄せ、入会時の年齢も高くなり非常に難しくなっています。

新年度も、会員・役員・職員が一体となって、シルバー発展のために努力していかねばならないと思います。会員の皆様には、健康に留意して、仕事に励んで頂き、当センターが益々発展しますように、ご支援ご協力をお願い致します。

平成30年度事業報告

平成30年度は、請負・委任事業は猛暑日などの天候の影響を受け、受注業務の消化が遅れたことなどから、夏場を中心に月別就業実績が前年度を下回りました。一方、適正就業に向けて取り組んでいるシルバー派遣事業は、事業所のご理解をいただき大幅に増加しましたが、全体では1,229万9千円の減少となりました。

(下段の表を参考にして下さい。)



平成30年度事業実績

		契約金額	対前年比	受託件数	対前年比	就業延べ人数	対前年比
請負・委任契約		377,711,557 円	▲ 21,078,940 円	7,057 件	▲ 159 件	88,815 人	▲ 3,888 人
内 訳	公 共	70,099,184 円	3,453,924 円	203 件	20 件	12,125 人	479 人
	企 業	230,100,786 円	▲ 19,333,143 円	2,564 件	▲ 49 件	58,096 人	▲ 3,657 人
	家 庭	77,511,587 円	▲ 5,199,721 円	4,290 件	▲ 130 件	18,594 人	▲ 710 人
派 遣 契 約		25,351,937 円	8,780,404 円	37 件	18 件	5,988 人	2,299 人

祝 辞



藤枝市長
北村正平

定時総会のご盛会を、心よりお慶び申し上げます。

新しく令和という時代を迎え、これからは人生100年の総活躍の時代と言われ、明るく楽しい社会生活を、みんなが力を合わせて創る時代にすることが私たちに課せられていると思います。

さて、藤枝市の最近の動きについて、3点ご紹介します。

① 第一回コンパクト街づくり大賞で全国最優秀賞受賞

この受賞は、ICT（情報通信技術）を使い、働き方改革の一つとして、藤枝に居ながら東京の仕事が出来るモデル都市としての取組が評価され、当市が国土交通大臣から表彰されました。

② 九条ネギの加工工場 市内大東町に建設

都市の発展には、農商工全ての産業の活性化が大切です。地域農業の振興として、九条ネギのトップメーカーと提携し、ネギ加工施設の建設を進めています。

③ 市民の安全・安心のために市立総合病院の充実

3年前に救命救急センターを建設し、集中治療装置の導入など、医療体制のさらなる充実を図っています。また、かかりつけ医となる開業医との連携を進め、皆さんが藤枝市立病院にすれば安心して治療ができるように進めています。

都市の勢いは、人によってもたらされるもので、人を育てることが何より大切だと思います。そういう意味で、豊かな知識と経験を持つ皆さんが、現役として活躍できる場を提供するシルバー人材センターは、大事な存在であると思います。

また、センターでは子育て支援事業に積極的に取り組んでいただいており、特に市と連携した病児保育や託児事業では、利用者の皆さんに大変喜ばれています。

これからも皆さんが楽しく生き生きと働ける生涯現役社会が実現するように、センターの事業の拡大と会員の確保に向けて、市としても全力で支援をしたいと思っています。

結びに、藤枝市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健康ご活躍をお祈り申し上げます。

会員の拡大・入会促進

ここ数年、減少傾向であった会員数については、新規入会者が前年度より24名増えて117名、退会者が35名減り105名でした。前年度末に比べ12名増の894名となり、ようやく減少傾向に歯止めが掛かりました。

この会員の拡大に向けては、各種技能講習の実施、イベント等への参加など、各委員会でも検討し、シルバー人材センターのPRや普及啓発活動を行い、入会促進に努めました。



安全就業・事故防止

センターの事業を推進していく上で、最も基本とすべきことは、安全就業の確保です。安全・適正就業委員会を中心に、職群別の安全対策会議や安全パトロールなどの取り組みを進め、会員の安全意識の高揚に努めてまいりました。

事故発生状況

	事故件数	内 訳	
		障害事故	賠償事故
平成30年度	12 件	7 件	5 件
平成29年度	15 件	6 件	9 件
増 減	▲ 3 件	1 件	▲ 4 件

令和元年度の事業計画 就労を通じて、地域社会に貢献しよう！

平成から令和へ、新しい時代を迎えて国は、働き方改革の中で生涯現役社会を推進しており、健康で意欲のある高齢者の経験や知恵を社会で活かして、就労の機会を確保する事に取り組んでいます。

当センターも、『自主・自立、共働・共助』の理念の下で、会員が力を合わせて、市民生活や地域社会に貢献する就業促進に取り組んでまいります。

基本方針

- ① 会員の増強と 普及啓発活動の推進
- ② 安全就業の徹底
- ③ 就業機会の確保と 適正就業の推進
- ④ 会員の資質向上と 技能向上の推進
- ⑤ 組織体制の確立
- ⑥ 財政基盤の確立と 効率的な財政運営の推進
- ⑦ 地域社会への貢献

新理事長就任あいさつ



桜井幹夫

感じているところです。

この度、藤枝市シルバー人材センターの理事長という大役を仰せつかりました桜井幹夫です。平成という時代が終わり、令和という新しい時代の始まりに当センターの舵取りを任せられ、身の引き締まる思いとともに、その責任の重さを痛

感しているところです。さて、最近の少子高齢化の進展により経済の持続性が危惧される中、一億総活躍・生涯現役社会に向けた取り組みが進められており、シルバー人材センターの果たす役割は、益々重要性を増してきております。このような中で、会員の皆様方が、長年培った知識や経験を活かして、地域の支え手として活躍され、また、就業を通じて自らの生きがいを見出すことは大変重要なことだと考えております。一方、シルバー人材センターを取り巻く環境も大きく変化して

きており、課題も山積しております。

もとより微力ではございますが、大井前理事長を始めとする諸先輩方の功績を汚すことのないよう、さらに当センターの益々の発展に向けて、新役員一同力を合わせて精一杯努めてまいりますので、会員の皆様方、また関係各位の皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

前理事長退任あいさつ



大井市郎

会員の皆様、本年度の総会を最後に、理事長を退任させていただくことになりました。

振り返ってみますと、前任の三ヶ尻理事長の急逝に伴い、平成二十一年にその後を受けて理事長に就任し、

早十年となりました。その間には様々な出来事がありました。特に思い出されるのは、国の事業仕分けによるシルバー人材センター事業への大幅な補助金の削減です。大変厳しい事業運営を迫られた時期が数年間続きましたが、藤枝市の温かいご支援と、会員の皆様のご努力・ご尽力により、何とか乗り越えられた事に、感謝を申し上げます。

後任には、市から桜井元副市長をご推挙して頂き、新しい令和の時代のリーダーとして、必ずや会員の皆

様を導いてくれるものと信じており、私も安心して退任できると感じております。

これからも、桜井新理事長を中心に、藤枝市シルバー人材センターが益々ご発展されることをご祈念申し上げ、在任中、ご支援・ご協力を賜りました会員の皆様や関係の皆様にご心より御礼申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



新会員募集

シルバー

人材センターとは

健康で働く意欲のある高齢者に、就業を通じて生きがいを高め、活力ある地域社会づくりに貢献する、営利を目的としない公益法人です。

入会資格

- ・ 藤枝市にお住まいの方
- ・ 60歳以上の方
- ・ 健康で働く意欲のある方

入会前に

- ・ 入会するには必ず説明会を受けて頂く事が必要です。
- ・ 説明会は毎月、原則として第3月曜日に、事務所2階で開催します。

入会希望はご連絡を

藤枝市藤枝5丁目3-20
TEL・・・64115565
FAX・・・64118818
お待ちしております。



栄えある会員の10年表彰

令和元年度定時総会で会員 24 名が表彰されました。



令和元年度定時総会で
表彰された会員のお名前 (敬称略)

地 区	氏 名
葉 梨 地 区	西澤 喜三 枝
	小澤 久 男
	丹羽 順 子
	青木 清 人
広 幡 地 区	朝倉 勇次 治
西 益 津 地 区	櫻井 泰 男
	大塚 宣 昭
	海野 一 子
	平尾 博 子
藤 枝 東 地 区	寺田 文代 夫
	下田 和 廣
	梶山 敏 雄
	杉山 征 弥
青 島 南 地 区	江頭 征 弥
	村松 トシ 江
青 島 北 地 区	大井 市 郎
	狩野 義 一
	植田 益 弘
	中村 嘉 男
高 洲 地 区	岩崎 勝 美
	中山 義 博
岡 部 南 地 区	杉山 ぎ ん
	田守 茂 穂
岡 部 北 地 区	大石 盛 雄

謝辞



10年表彰、ありがとう
健康で仕事に誇りをもって努めて参ります。

広幡地区 朝倉 勇次

受賞者を代表し一言お礼申し上げます。
私は平成21年4月にシルバー人材セン
ターへ入会致しました。幸いにも、入会当
初より仕事に就業することができ、月に10
日から15日位、駐車場の案内係の仕事をさ
せて頂いております。
ある時、ほかの会員さんから「登録した
けど仕事がない」という話を聞き、「一緒
に駐車場の仕事をやるかね」と声を掛け
りして、仕事仲間が増え、今では40名位の

グループになりました。そして、年一回、
懇親会を開くようになり、今年一月の時に
は30名程の会員が出席し、楽しく歓談の時
を過ごしました。
これからもシルバー会員の誇りをもつ
て、仲間とともにしっかり期待に応えられ
るよう体力の続く限り頑張っていきたいと
思います。ご支援の程よろしくお願い致し
ます。

令和元年度 藤枝市シルバー人材センター 組織図

後藤 裕和

・村越

松 正行・小林 睦

- ・村松 正行・小林 睦恵
- ・茂川美代子・貝沼 純也
- ・坂巻代里子・大出 和美
- ・伊東 照代・小長井博文
- ・望月 孝子・大畑 芳樹
- ・池ヶ谷佐登美・八木 悦子
- ・八田 直彦

桜井 幹夫

岸本 孝夫

小澤 隆保

内記 秀夫

● 事業推進委員会

・普及啓発委員会

1. **THE PROBLEM**

•

•

•

•

池谷 直美
石田 眞由美
大島 靖之
大畑 恵子
小柳 津茂弘
佐久間 清
須永 誠三
原田 昌宏
平出 武男
丸山 金吾
森谷 亮治

地区長		（会員数）		各地区ごとの班長		※不在	
瀬戸谷地区・井口 静衛（10）	・①班	井口 静衛					
稲葉地区・澤山宇三郎（18）	・①班	原田 昌宏・②班	澤山宇三郎				
葉梨地区・小島 節江（95）	・①班	片山 銀次・②班	森下ノブ子・③班	平野 勝身・④班	渡辺 俊道		
	・⑤班	小島 節江・⑥班	石橋 勝義・⑦班	鈴木 康子・⑧班	山本 光幸		
広幡地区 ※（48）	・①班	藤田 和枝・②班	山村 保久・③班	朝倉 勇次・④班	桑原 米雄		
	・⑤班	堀池 篤志					
西益津地区・山野 徳一（66）	・①班	渡辺 勝・②班	海野 一昭・③班	池端 新一・④班	神山 繁		
	・⑤班	大塚 宣男・⑥班	山野 徳一				
藤枝東地区・小澤 正吉（79）	・①班	小島 満昭・②班	高橋 茂・③班	由比藤 仁・④班	望月 広幸		
	・⑥班	小澤 正吉・⑦班	深沢 正義				
藤枝西地区・澤本 康逸（84）	・①班	澤本 康逸・③班	丸山 明彦・④班	田口 弘道・⑤班	村田 裕司		
	・⑥班	八木小次郎・⑦班	三宅 敏夫・⑧班	望月 光平・⑨班	※		
	・⑩班	岡本 邦雄					
青島南地区・井上 靖彦（71）	・①班	前田 愛子・②班	滝沢 康祐・③班	井上 靖彦・④班	※		
	・⑤班	一藤 正義・⑥班	森竹 亮二				
青島北地区・加藤 隆男（140）	・①班	高島 清子・②班	加藤 隆男・③班	松田 侑三・④班	那須野廣治		
	・⑤班	安藤 信一・⑥班	片山 俊郎・⑦班	桐生 正夫・⑧班	半田 護		
	・⑨班	鷲山 延子・⑩班	※	長崎 信行・⑫班	小澤まさ江		
高洲地区・穂積 周作（142）	・①班	紅林 卓夫・②班	村松 康郎・③班	穂積 周作・④班	※		
	・⑤班	岩崎 勝美・⑥班	千葉 稔志・⑦班	中津山幸治・⑧班	小澤 清二		
	・⑨班	竹内 重則・⑩班	※	※			
大洲地区・横井 進（51）	・①班	増尾 副男・②班	大石 嘉平・③班	横井 進・④班	中野 秀男		
	・⑤班	碓井 直次・⑥班	藤村 久生				
岡部南地区・水野謙太郎（38）	・①班	藤田さかゑ・②班	金子 隆男・③班	山口 幸江・④班	水野謙太郎		
	・⑤班	牛山 弘					
岡部北地区・村越 久之（42）	・①班	池田 章・②班	吉田 孝男・③班	村越 久之・④班	前島 一敏		

第19期役員

よろしくお願いします。

6月22日の定時総会において役員が選任されました。
任期は、本総会の日から2年後の定時総会までです。



理事長
桜井 幹夫



副理事長
岸本 孝夫



常務理事兼事務局長
後藤 裕和



理事
池谷 直美



理事
石田 真由美



理事
大島 靖之



理事
大畑 恵子



理事
小柳津 茂弘



理事
佐久間 清



理事
須永 誠三



理事
原田 昌宏



理事
平出 武男



理事
丸山 金吾



理事
森谷 亮治

退任役員



理事長
大井 市郎



理事
田中 英雄



理事
原川 弘



理事
向島 陽太郎



監事
三宅 博



監事
小澤 隆保



監事
内記 秀夫

長期にわたり ご苦勞様でした

～令和元年度の専門委員会～

委員会の事業目的と委員構成

藤枝市シルバー人材センターは、3つの専門委員会を設けて、センターの運営や事業活動などを行っています。

各委員会とも、それぞれの事業目的をもって取り組み、イベントや講習会などを計画し、また、シルバー人材センター全体の事業活動を充実・発展させることに努めています。

◎委員長 ○副委員長 (事)事務局

事業推進委員会

- ①中・長期計画の進捗管理に関する事
- ②事業開拓に関する事
- ③未就業会員に対する就業相談に関する事

◎ 小柳津茂弘 ○ 原田 昌宏

(事) 大畑 恵子 (事) 石田真由美 (事) 後藤 裕和
(事) 村越 祝広 (事) 坂巻代里子 (事) 大出 和美

普及啓発委員会

- ①普及活動に関する事
- ②機関紙の編集作業に関する事
- ③会員の拡大に関する事

◎ 大島 靖之 ○ 佐久間 清

(事) 岸本 孝夫 (事) 丸山 金吾 (事) 小林 睦恵
(事) 村松 正行 (事) 茂川美代子

安全・適正就業委員会

- ①会員が健康で安全・適正に働くことができるための実施計画の策定に関する事
- ②就業上の自己分析と事故防止対策の樹立に関する事
- ③その他、会員の健康と安全適正就業に関する事

◎ 平出 武男 ○ 森谷 亮治

(事) 須永 誠三 (事) 池谷 直美 (事) 秋山 初男
(事) 平井 雅之 (事) 勝治 優雄 (事) 池田 元二
(事) 村越 祝広 (事) 貝沼 純也

安全標語



平成28年度から始まった安全標語の募集は4年目に入り、今年も6月に募集をしました。応募状況は49名70点の応募があり、厳正な審査により、次の様に決まりました。

最優秀賞 (1点)

健康は安全作業の第一歩

自分の管理も怠らず

青島南地区
あおきしょうじ
青木正二

優秀賞 (5点)

安全確認！気をぬく程に！

事故のもと！

藤枝西地区
ほりいしげこ
堀井重子

人材は

笑顔と朝のあいさつから

青島南地区
やまだつねこ
山田雅子

安全基準

守って今日も無事に就(終)業

高洲地区
ひらでたけお
平出武男

安全を 思う心に事故はなし

高洲地区
すぎやまえいじち
杉山栄一

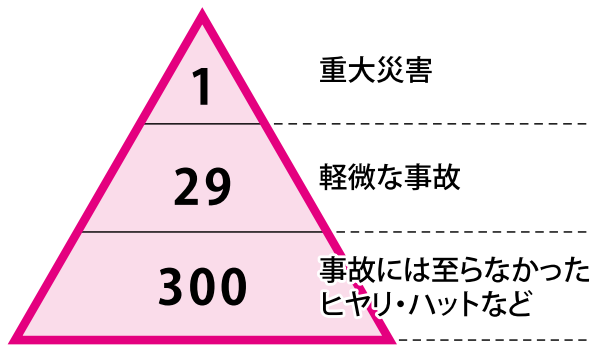
小さな気づきが大きな効果

声かけあって安全作業

高洲地区
むらまつやすろう
村松康郎

安全活動の基本は、ハインリッヒの法則を全員で共有し、安全標語募集で安全レベルの向上を図り、全員の活動で無災害に結び付けて行くのが一般的な手法です。まずハインリッヒの法則をおさらいしてみますと、この法則は、アメリカのハインリッヒ氏が提唱した労働災害の経験則のひとつです。

「1つの重大災害(死亡・重傷) 1件が発生する裏には、軽微な事故が29件、さらにその背後に隠れた事故の案件が300件(ヒヤリ・ハット)」あるとしている。」



1 : 29 : 300 の法則とも言われる

事故を未然に防ぐためには、事故や災害の発生が予測されたヒヤリ・

ハットの段階で対処して行くのが必要であります。そこで重要なのが、その作業に潜む危険を予測する能力であります。しかし能力は人それぞれ違いますが、安全標語は見事に危険を予測しています。

これまで4回にわたってお知らせした標語を理解し、実践すれば事故の未然防止に役立つ作品ばかりです。予知能力は、この標語を参考にしましょう。

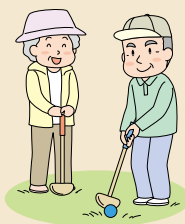
安全就業は会員の皆様だけでなく、ご家族の願いでもあります。この主旨を活かして安全就業を実践するのは「あなた」です。すべての会員による総合力で無災害を達成しましょう。

お知らせとお願い

グラウンドゴルフ大会開催

10月26日(土)に大井川河川敷で計画しています。

多くの会員の参加を期待しています。



会員親睦旅行

11月23日(土)の予定です。奮ってご参加下さい。



編集後記

今回の記事は、定時総会が主ですが、シルバー人材センターの仕組みが良く理解できる内容です。ご愛読下さい。

さて、最近「ひきこもり」という言葉を、新聞・テレビ等で聞き出すことが多くなりました。これまでも「ひきこもり」という若年者の問題と聞いていましたが、最近では高齢者の「ひきこもり」が急増し、そのうち中高年の「ひきこもり」の75%が男性で、定年後「ひきこもり」になる65歳以上の高齢者が、更に増加中の事。

更に「ひきこもり」を続けると、認知症になる確率が高くなり、現在、65歳以上の認知症患者は全国で500万人。7人に1人が認知症なのだそうです。また、2025年には、700万人に、すなわち5人に1人が認知症になるという推計データがあるそうです。

認知症対策は、孤独な生活ではなく、仲間作りが特効薬といわれています。何としても700万人の仲間入りだけはしたくないものです。

普及啓発委員長 大島 靖之